

図5-158 勤務後の選択反応時間の週内変動（年齢）

### 5-6-8. 自覚症しらべ

「自覚症しらべ」を用いて、勤務前後の疲労様態を調査した。解析には、WAI カテゴリを独立変数、年齢を共変量とした反復測定共分散分析を用いた。

#### 1) ねむけ感

「ねむけ感」について比較を行った結果、勤務前後の変化は有意であった ( $p=.026$ )。勤務前と比較して、勤務後の「ねむけ感」は低い傾向が見られた。勤務前後の変動と年齢、勤務前後の変動とWAI カテゴリとの交互作用は、どちらも有意ではなかった。

次に主効果について検討した結果、WAI の主効果は有意であった ( $p=.006$ )。Excellent 群は、Moderate 群と比較して有意に低い傾向が見られた。年齢の主効果は有意ではなかった ( $p=.247$ )。

勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Excellent 群において有意な勤務前後の変化がみられた ( $p=.003$ )。Moderate 群においても有意傾向がみられた ( $p=.094$ )。各測定日の勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Excellent 群では月曜日 ( $p<.001$ )、水曜日 ( $p=.036$ ) において有意差がみられた。Moderate 群では、月曜日において有意差がみられた ( $p=.041$ )。

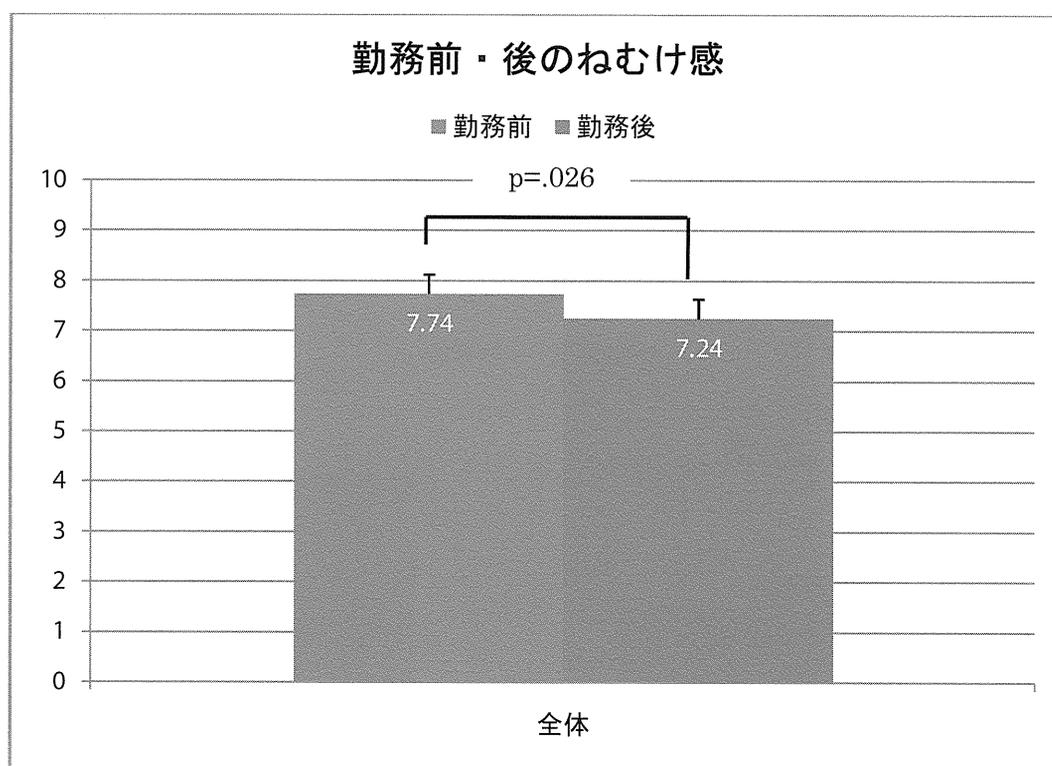


図5-159 勤務前・後のねむけ感 (全体)

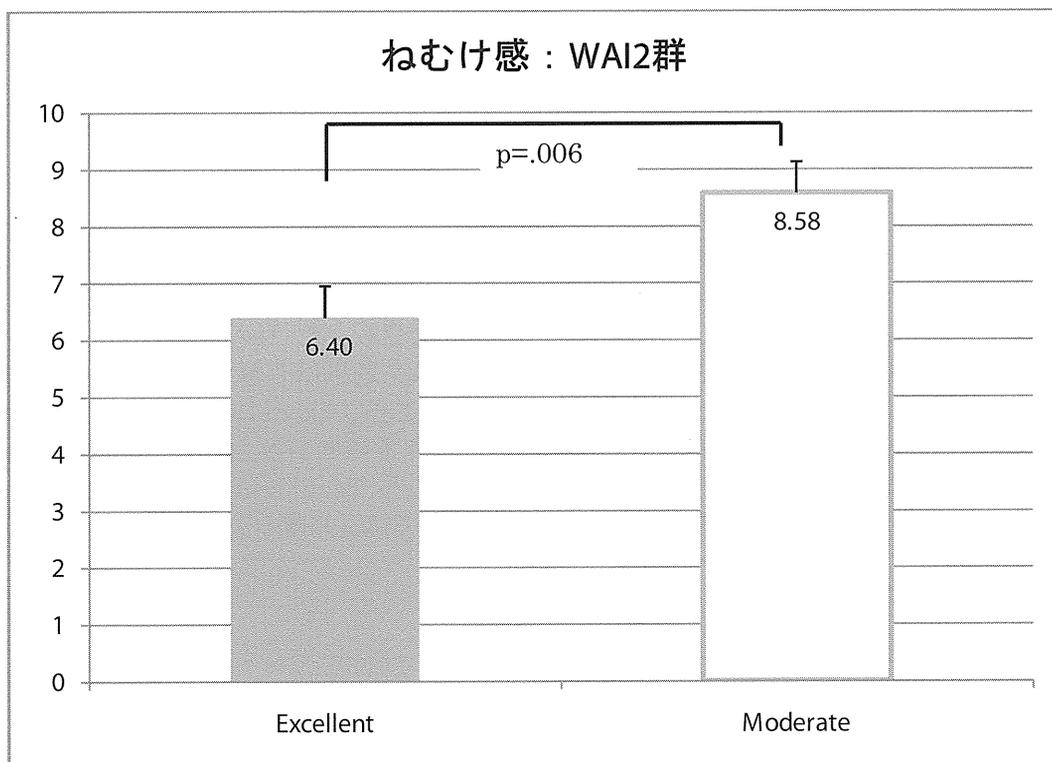


図5-160 ねむけ感全体 (WAI2群)

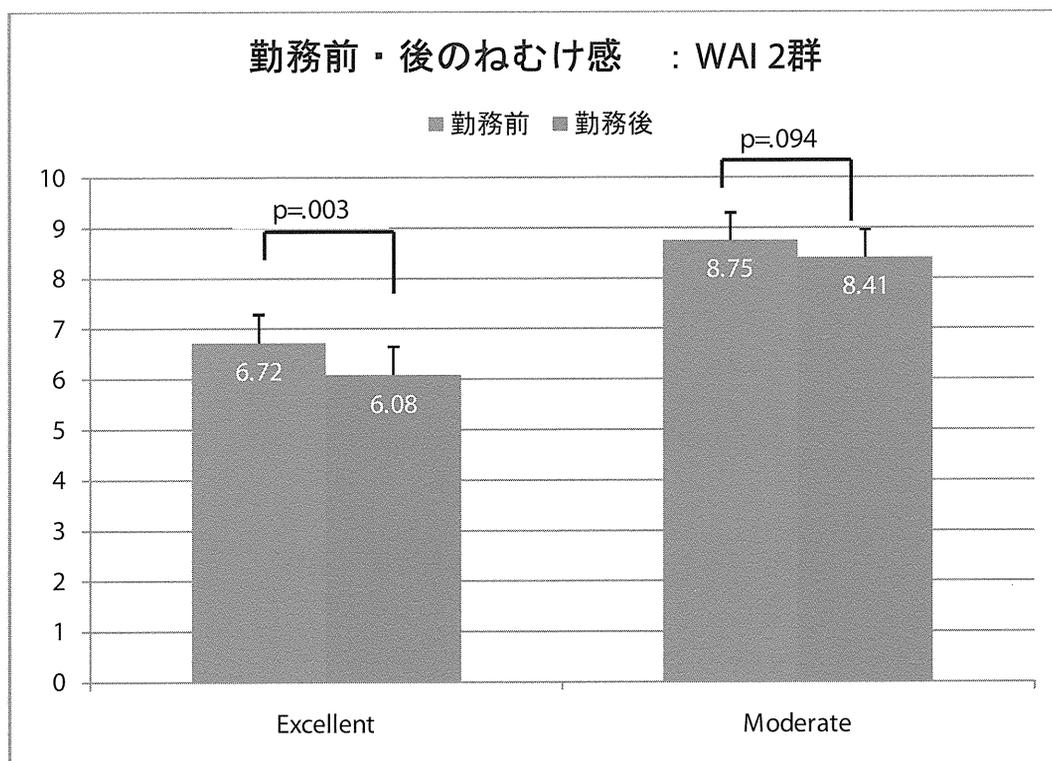


図5-161 勤務前・後のねむけ感 (WAI2群)

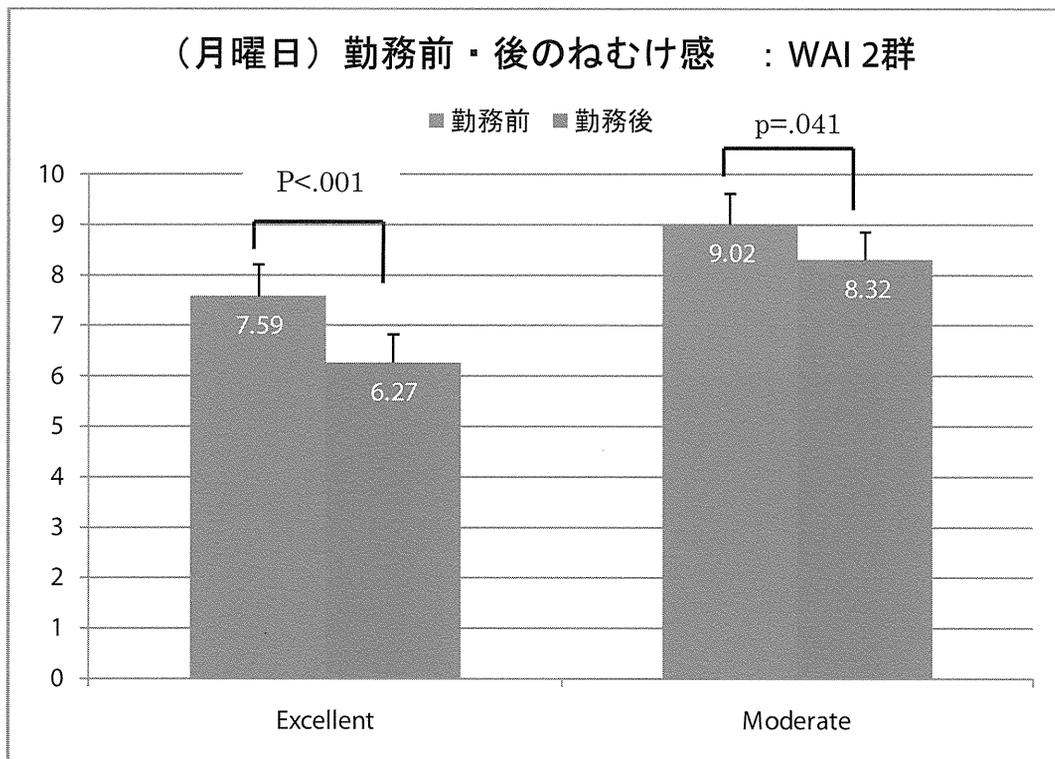


図 5-162 月曜日の勤務前・後のねむけ感 (WAI2 群)

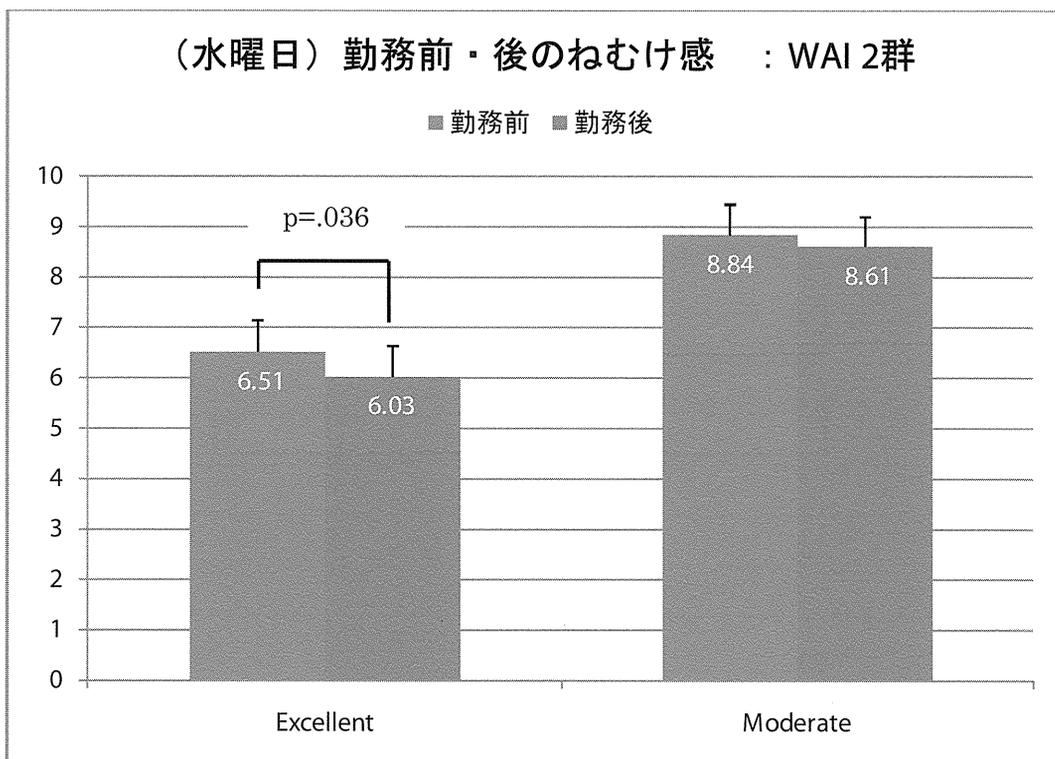


図 5-163 水曜日の勤務前・後のねむけ感 (WAI2 群)

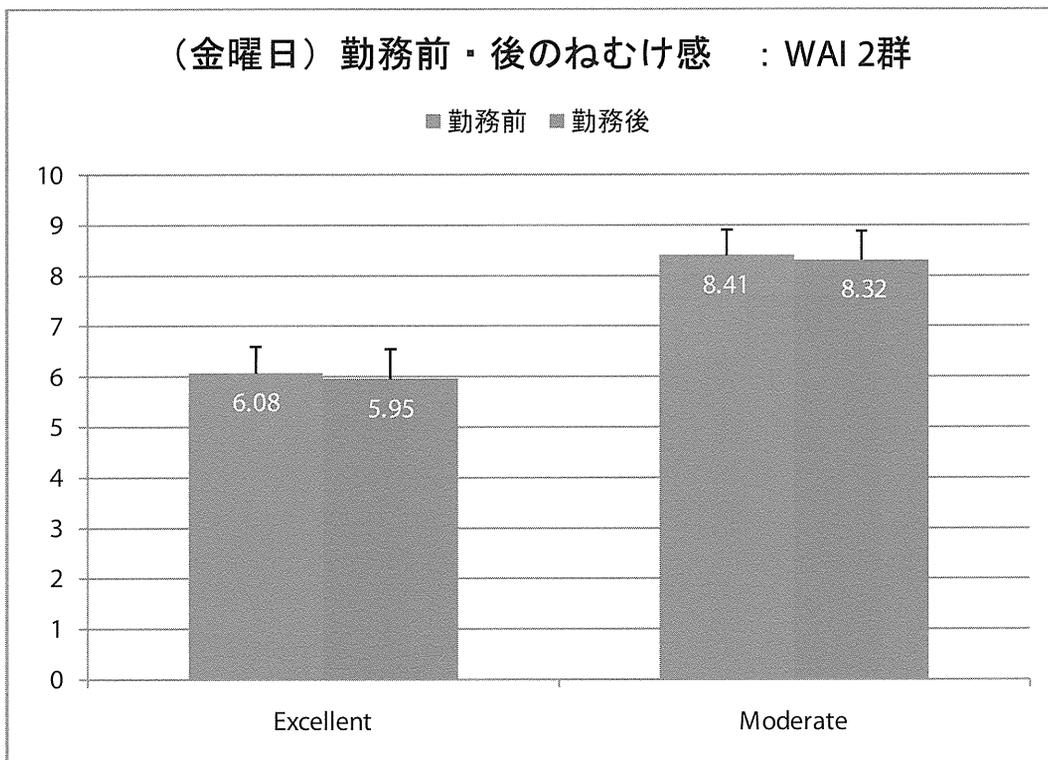


図5-164 金曜日の勤務前・後のねむけ感 (WAI2群)

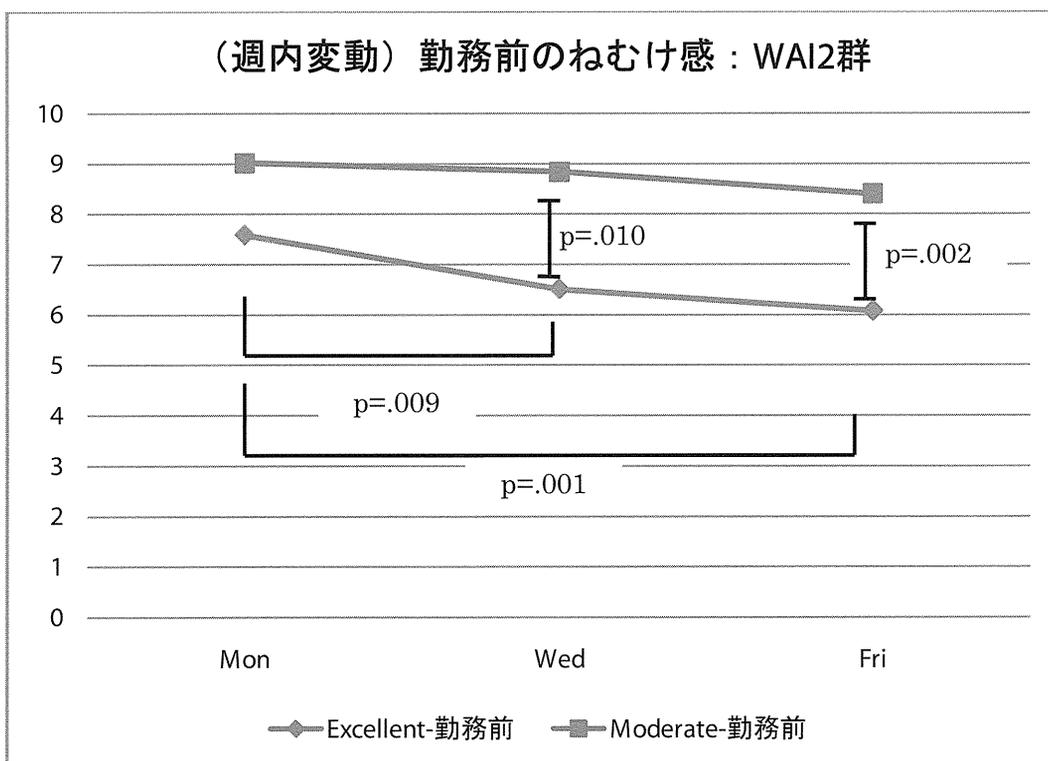


図5-165 勤務前のねむけ感の週内変動 (WAI2群)

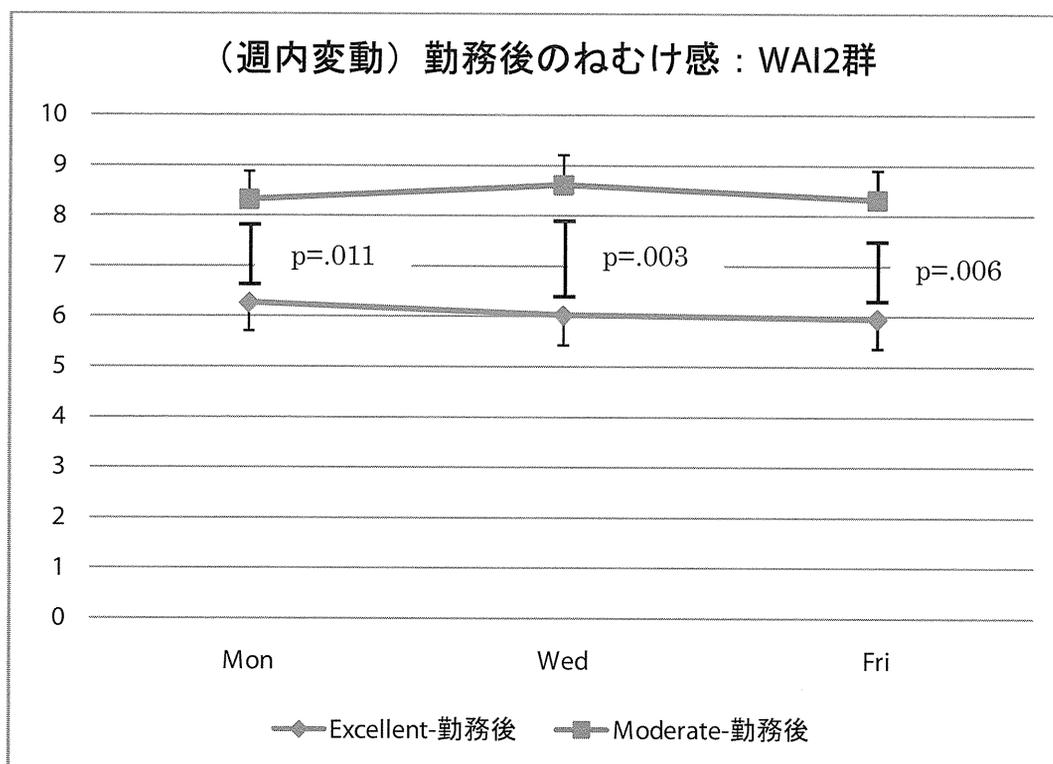


図5-166 勤務後のねむけ感の週内変動 (WAI2群)

## 2) 不安定感

「不安定感」について比較を行った結果、勤務前後の変化は有意ではなかった。また、勤務前後の変動と年齢、勤務前後の変動とWAIカテゴリとの交互作用は、どちらも有意ではなかった。次に主効果について検討した結果、WAIの主効果は有意であった( $p=.015$ )。Excellent群は、Moderate群と比較して、有意に低い傾向が見られた。年齢の主効果は有意傾向であった( $p=.051$ )。勤務前後の変化について、WAIカテゴリ毎に検討したところ、両群ともに有意ではなかった。各測定日の勤務前後の変化について、WAIカテゴリ毎に検討したところ、Moderate群の金曜日においてのみ、有意傾向がみられた( $p=.080$ )。

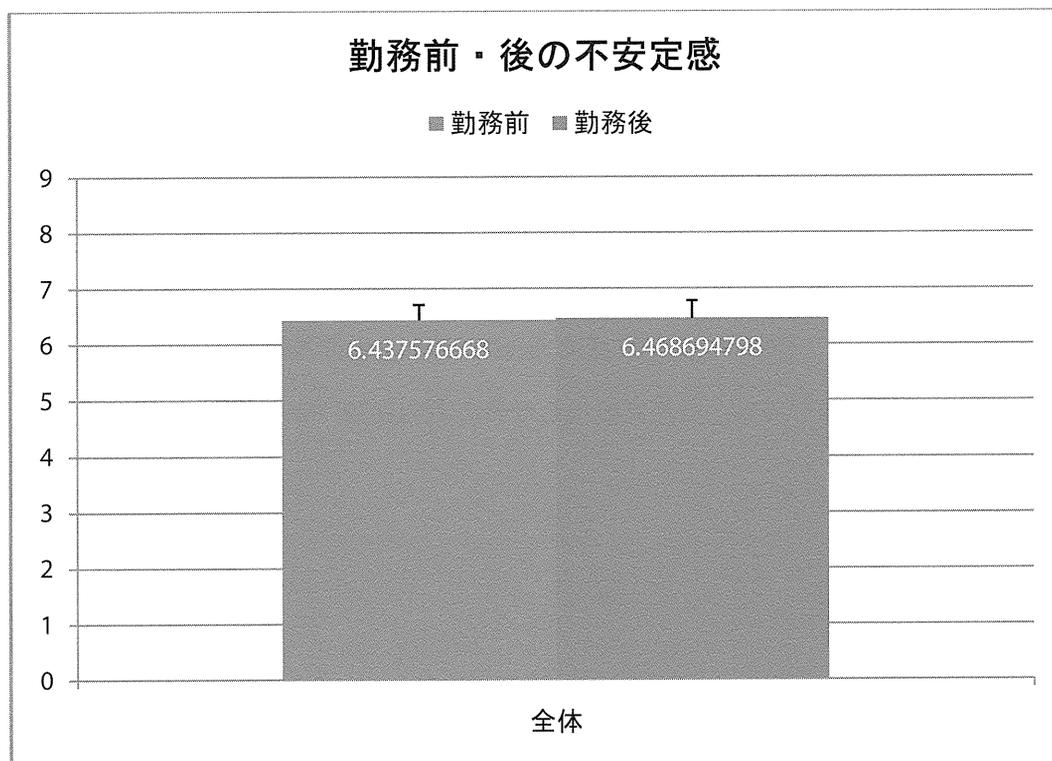


図5-167 勤務前・後の不安定感（全体）

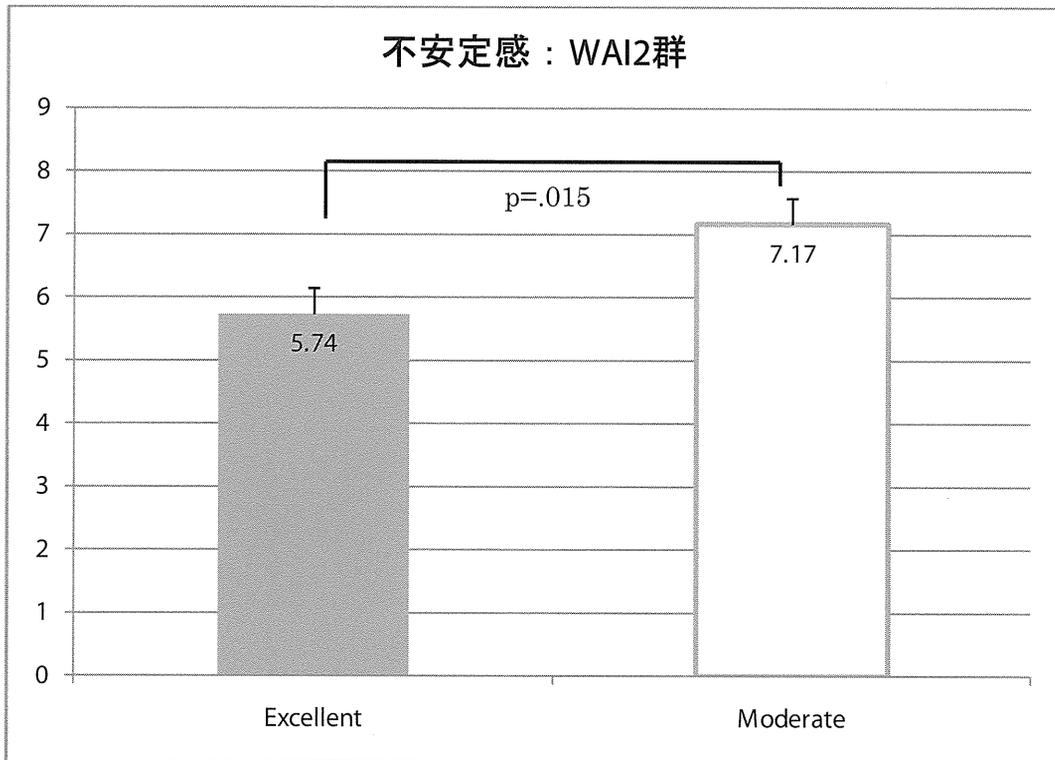


図5-168 不安定感 (WAI2群)

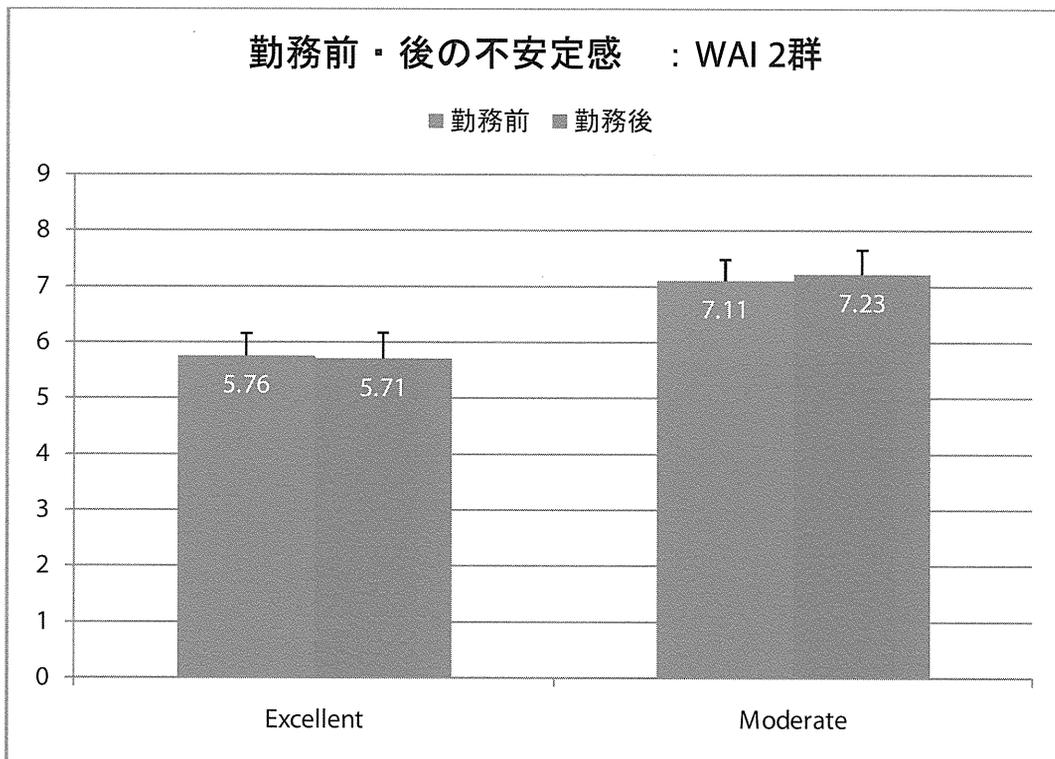


図5-169 勤務前・後の不安定感 (WAI2群)

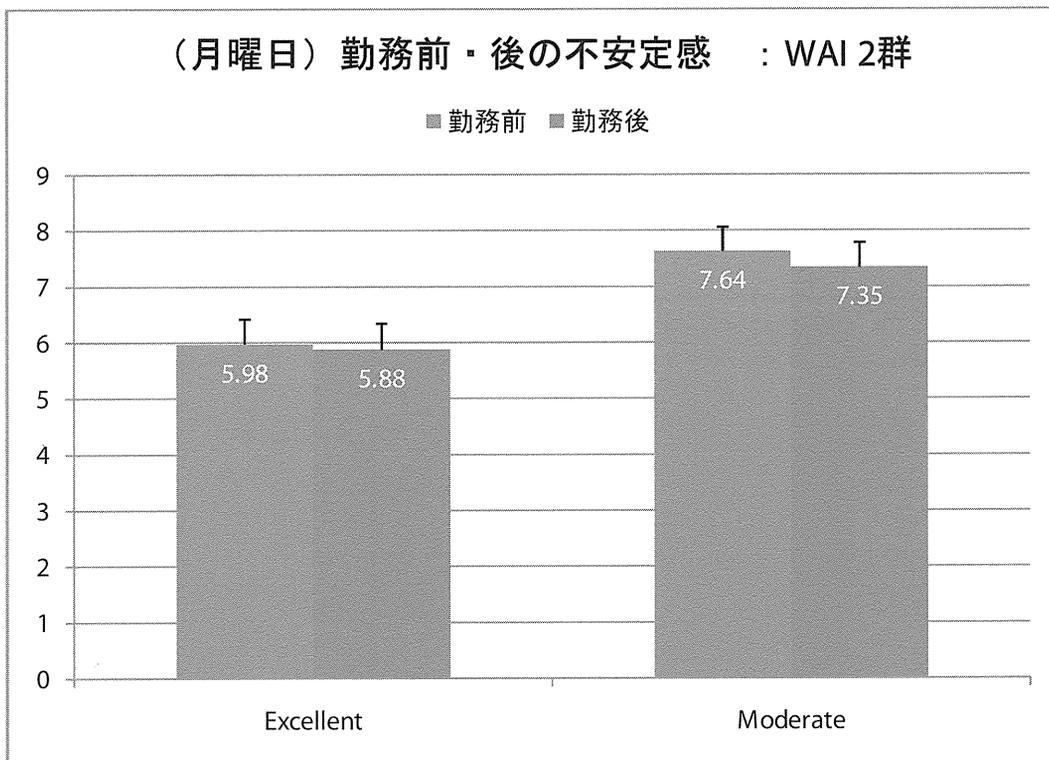


図5-170 月曜日の勤務前・後の不安定感 (WAI2 群)

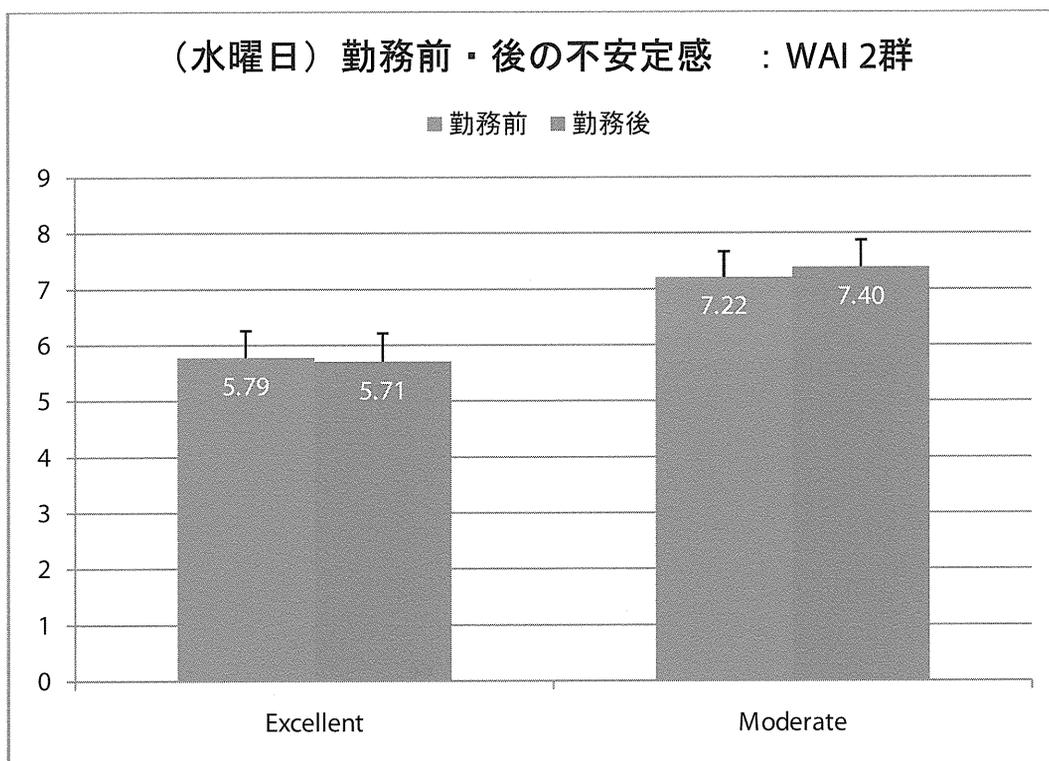


図5-171 水曜日の勤務前・後の不安定感 (WAI2 群)

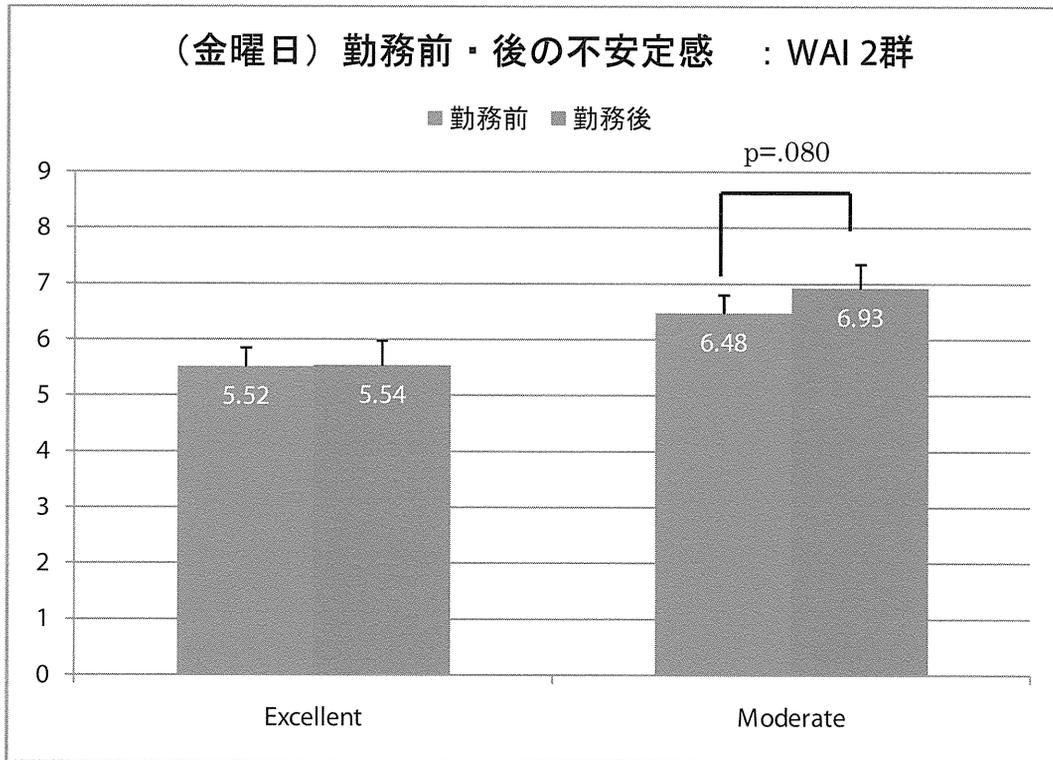


図 5-172 金曜日の勤務前・後の不安定感 (WA 医 2 群)

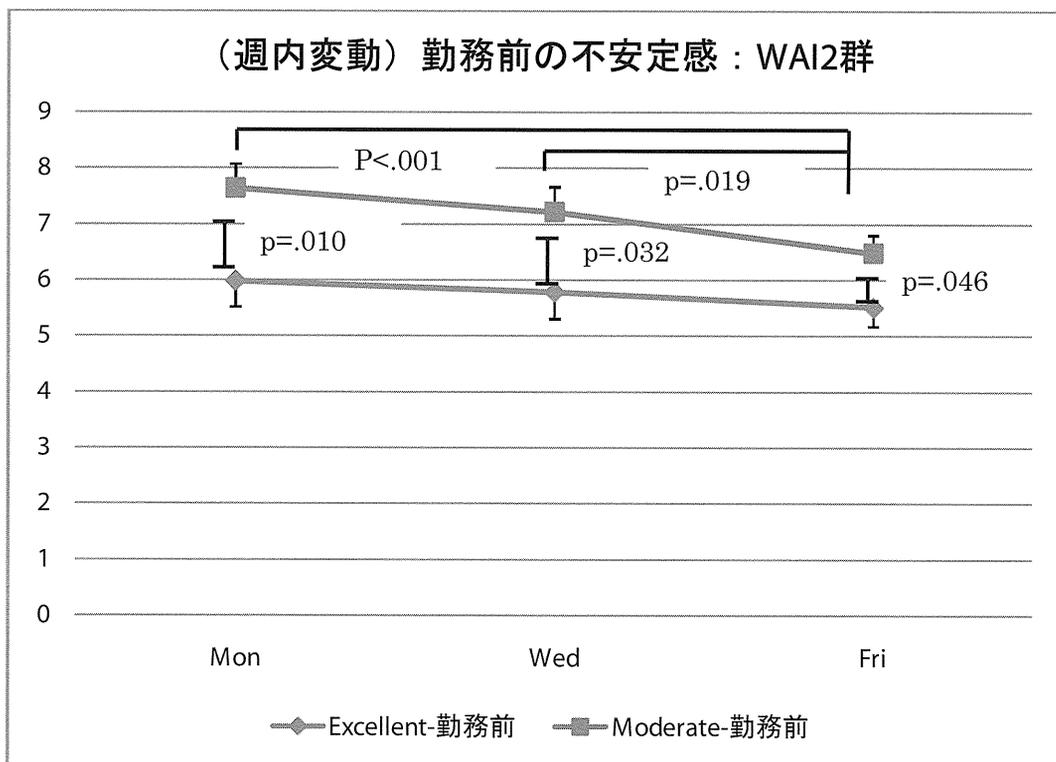


図 5-173 勤務前の不安定感の週内変動 (WAI2 群)

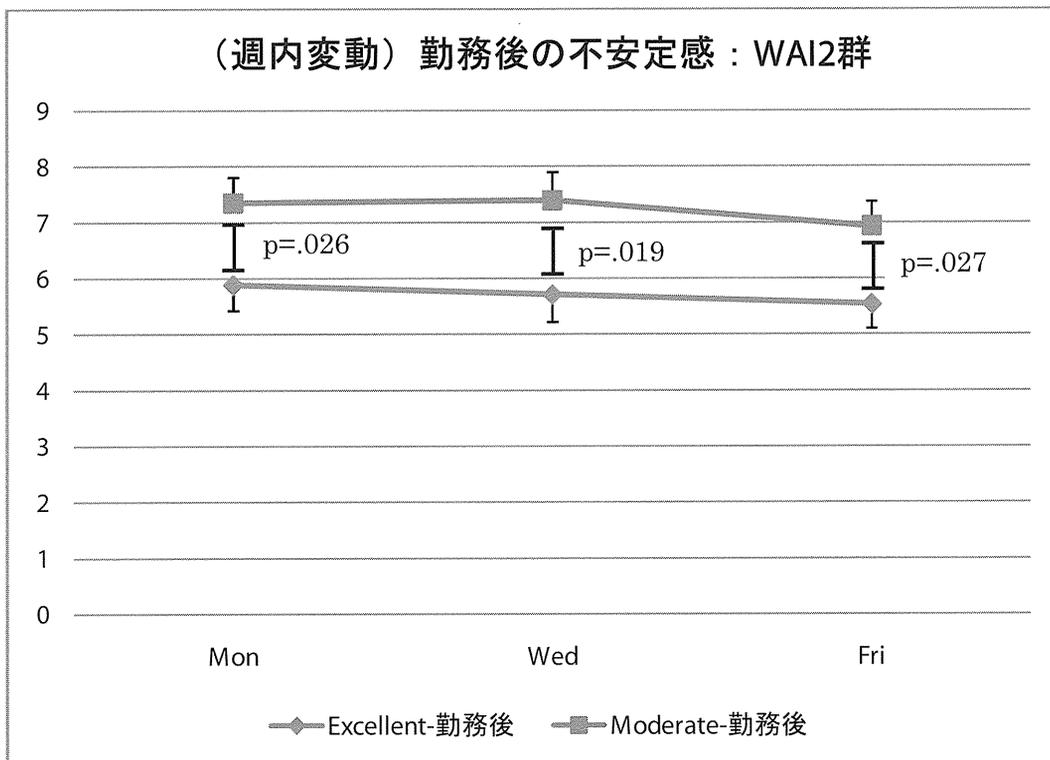


図 5-174 勤務後の不安定感の週内変動 (WAI2 群)

### 3) 不快感

「不快感」について比較を行った結果、勤務前後の変化は有意ではなかった ( $p=.695$ )。また、勤務前後の変動と年齢、勤務前後の変動と WAI カテゴリとの交互作用は、どちらも有意ではなかった。

次に主効果について検討した結果、WAI の主効果は有意であった ( $p=.034$ )。Excellent 群は、Moderate 群と比較して、有意に低い傾向が見られた。年齢の主効果は有意ではなかった ( $p=.187$ )。勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、両群ともに有意ではなかった。各測定日の勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Moderate 群の月曜日においてのみ、有意差がみられた ( $p=.028$ )。

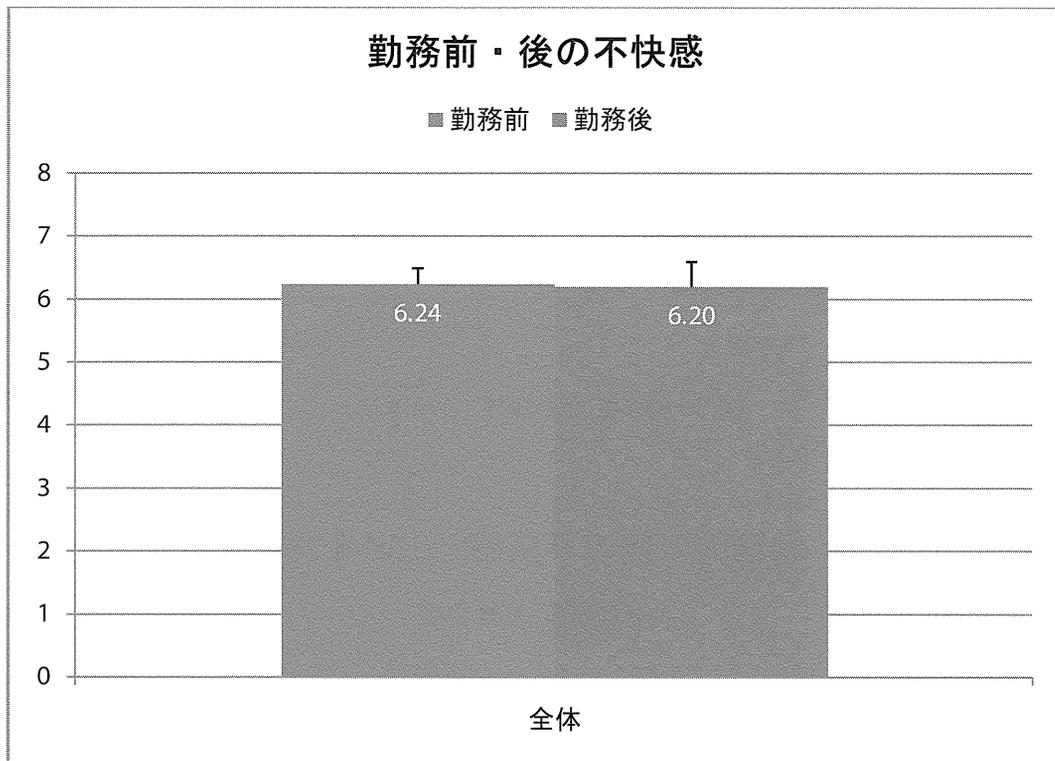


図5-175 勤務前・後の不快感 (全体)

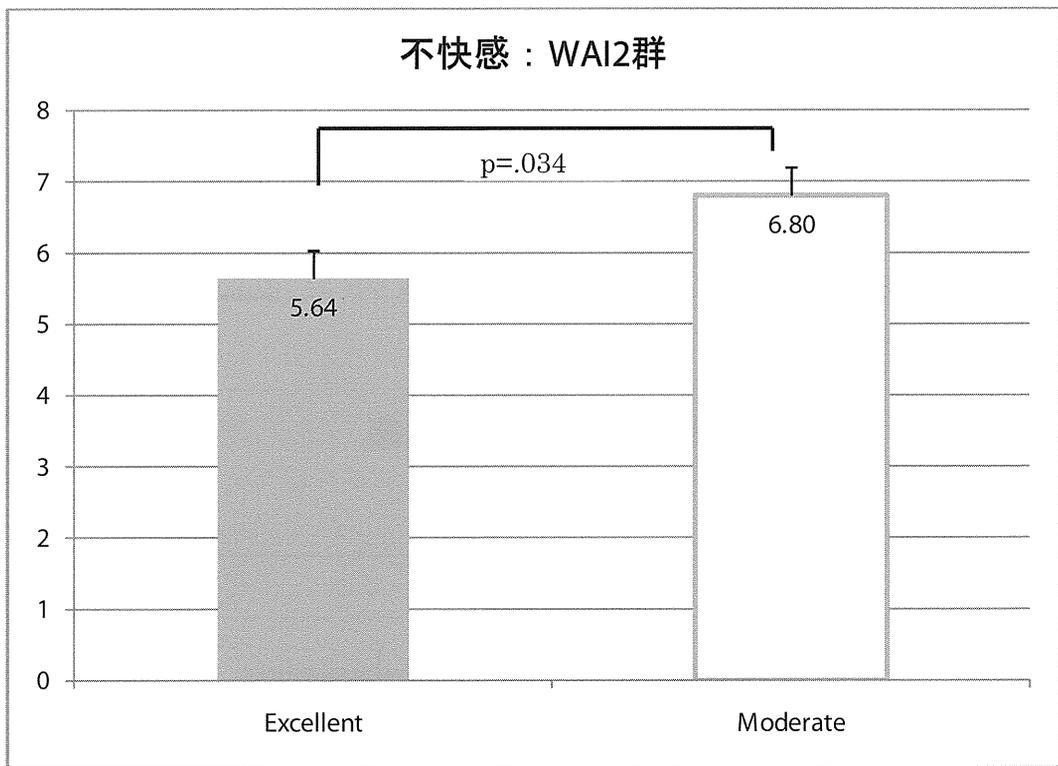


図5-176 不快感 (WAI2群)

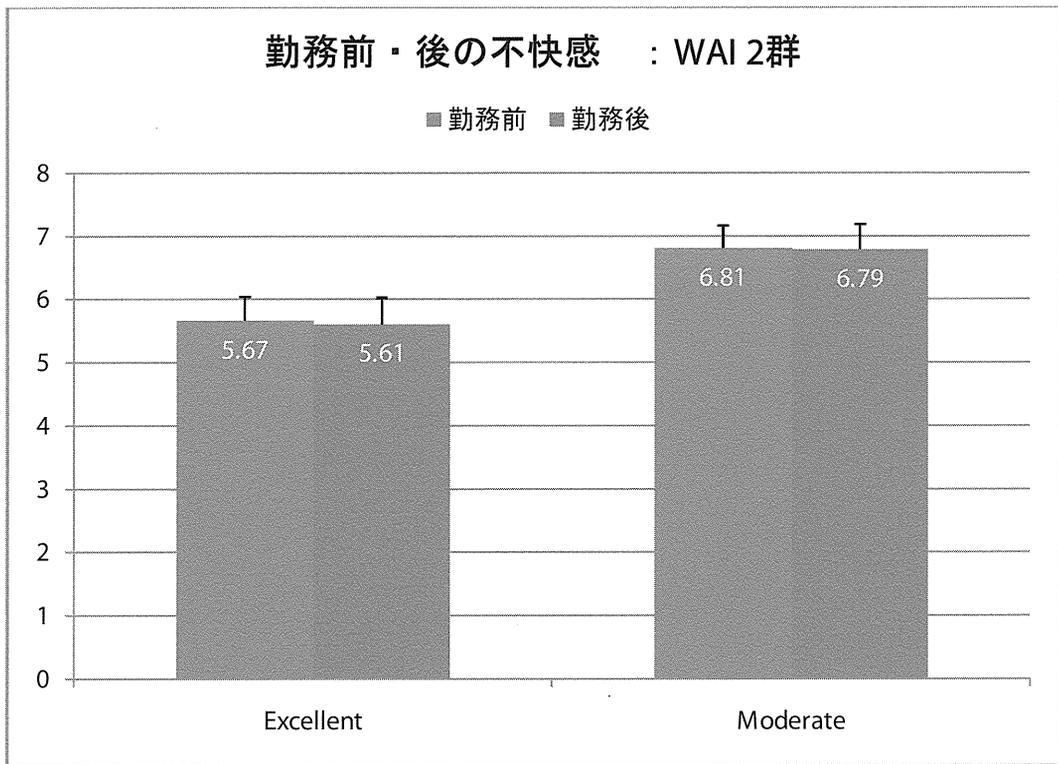


図5-177 勤務前・後の不快感 (WAI2群)

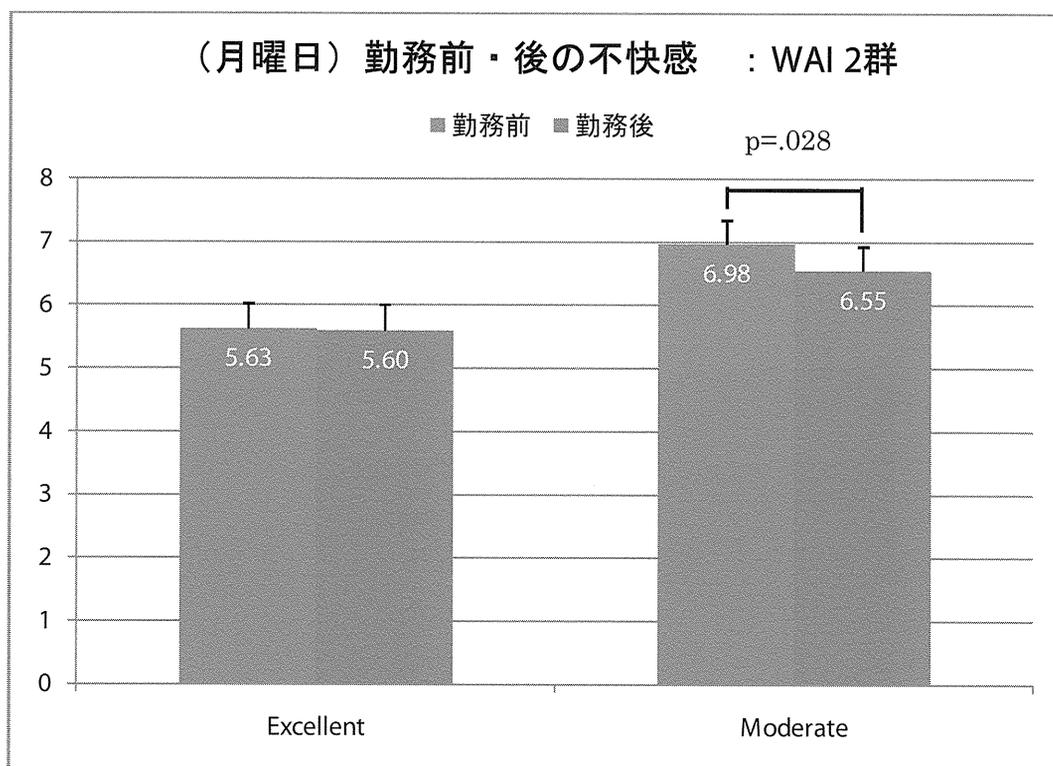


図 5 - 178 月曜日の勤務前・後の不快感 (WAI2 群)

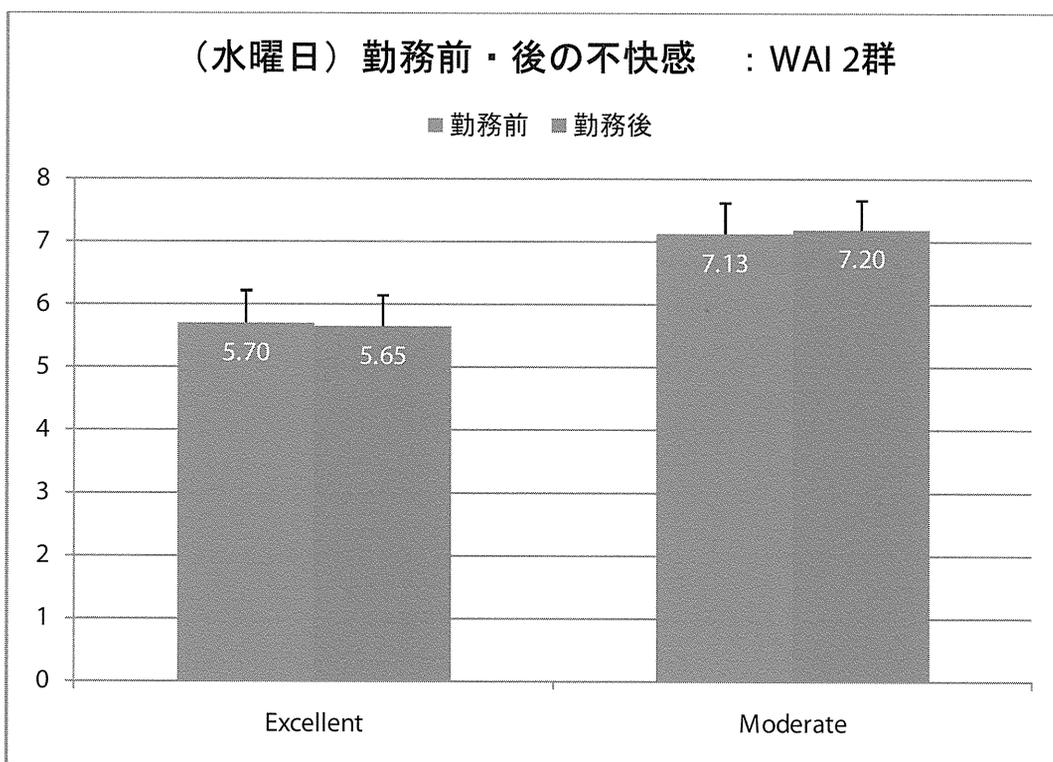


図 5 - 179 水曜日の勤務前・後の不快感 (WAI2 群)

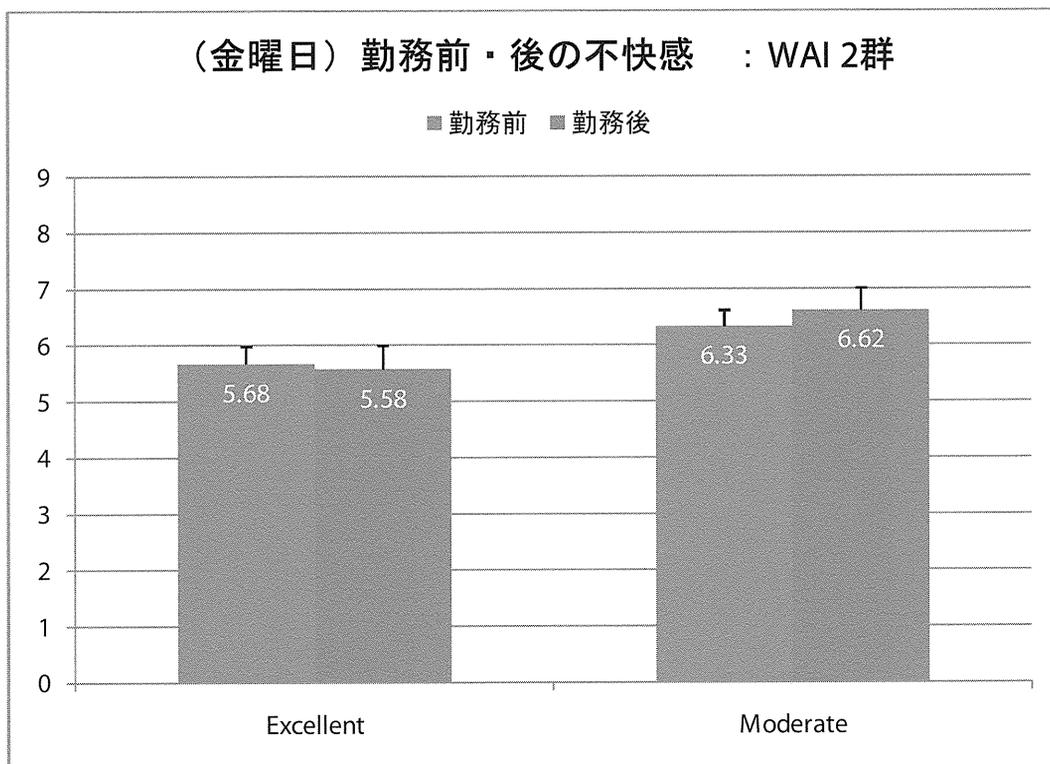


図5-180 金曜日の勤務前・後の不快感 (WAI2群)

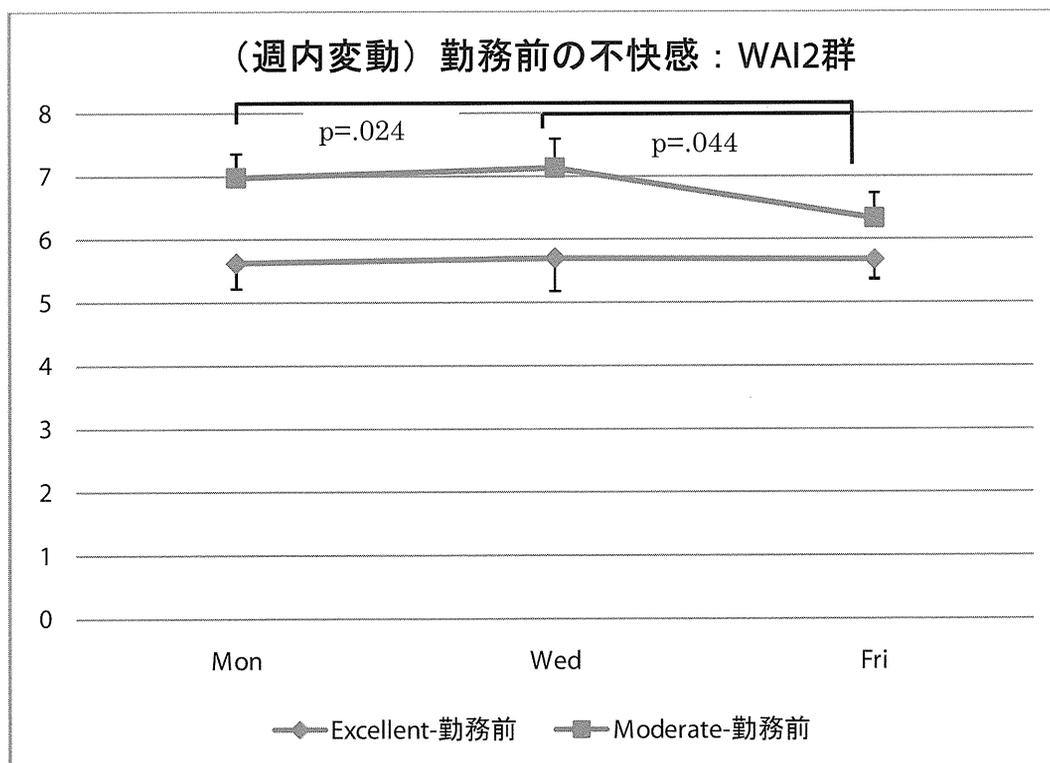


図5-181 勤務前の不快感の週内変動 (WAI2群)

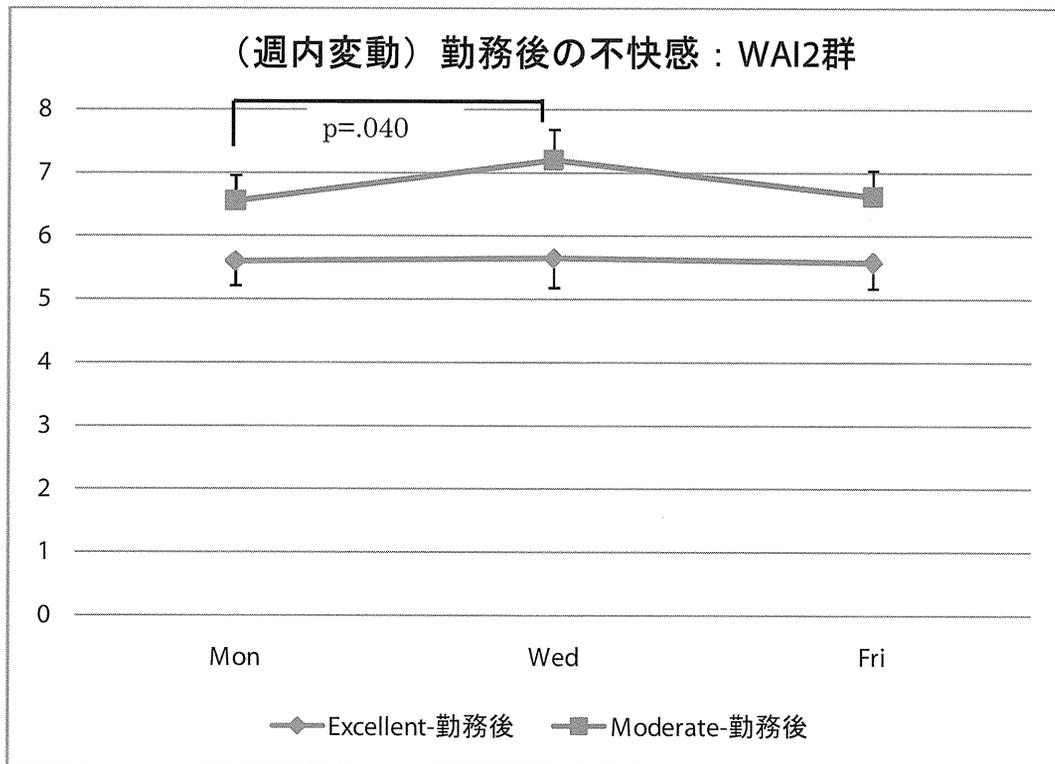


図 5-182 勤務後の不快感の週内変動 (WAI2 群)

#### 4) だるさ感

「だるさ感」について比較を行った結果、勤務前後の変化は有意であった ( $p=.011$ )。勤務前後の変動と年齢、勤務前後の変動とWAIカテゴリとの交互作用は、どちらも有意ではなかった。

次に主効果について検討した結果、WAIの主効果は有意であった ( $p=.028$ )。Excellent群は、Moderate群と比較して有意に低い傾向が見られた。年齢の主効果は有意ではなかった ( $p=.928$ )。

勤務前後の変化について、WAIカテゴリ毎に検討したところ、Moderate群において有意差がみられた ( $p=.005$ )。各測定日の勤務前後の変化について、WAIカテゴリ毎に検討したところ、Excellent群において、金曜日の勤務前後 ( $p=.044$ ) に有意差がみられた。Moderate群においては、月曜日 ( $p=.034$ )、水曜日 ( $p=.015$ )、金曜日 ( $p=.020$ ) のいずれにおいても有意差がみられた。

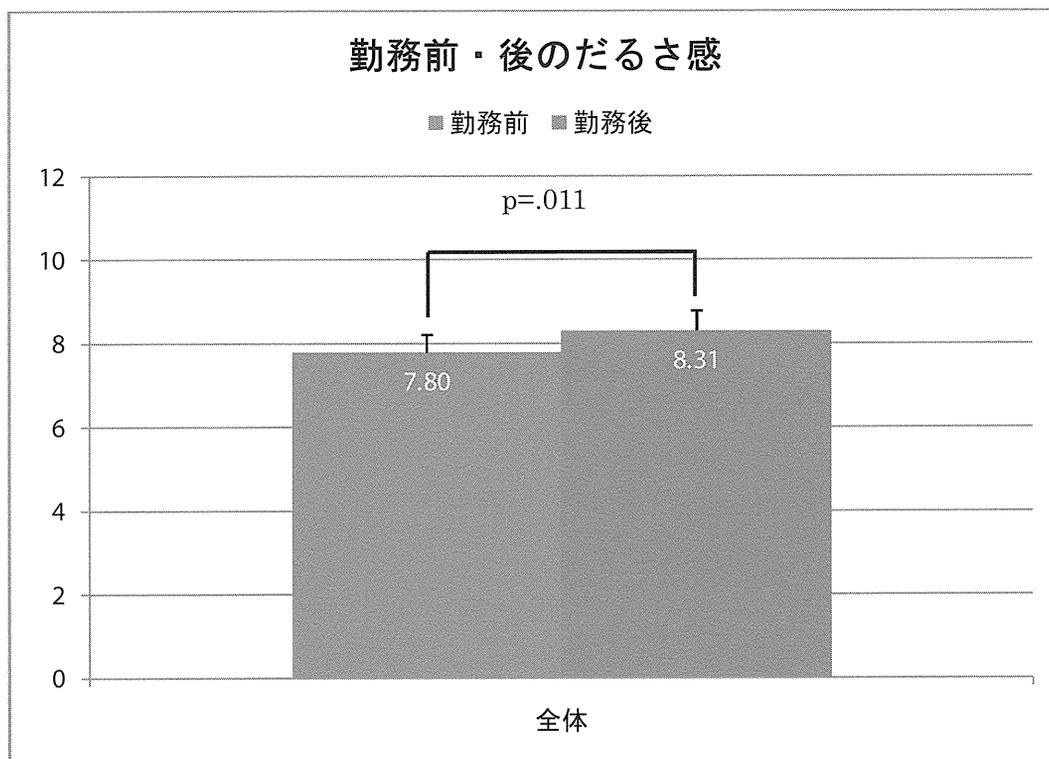


図5-183 勤務前・後のだるさ感 (全体)

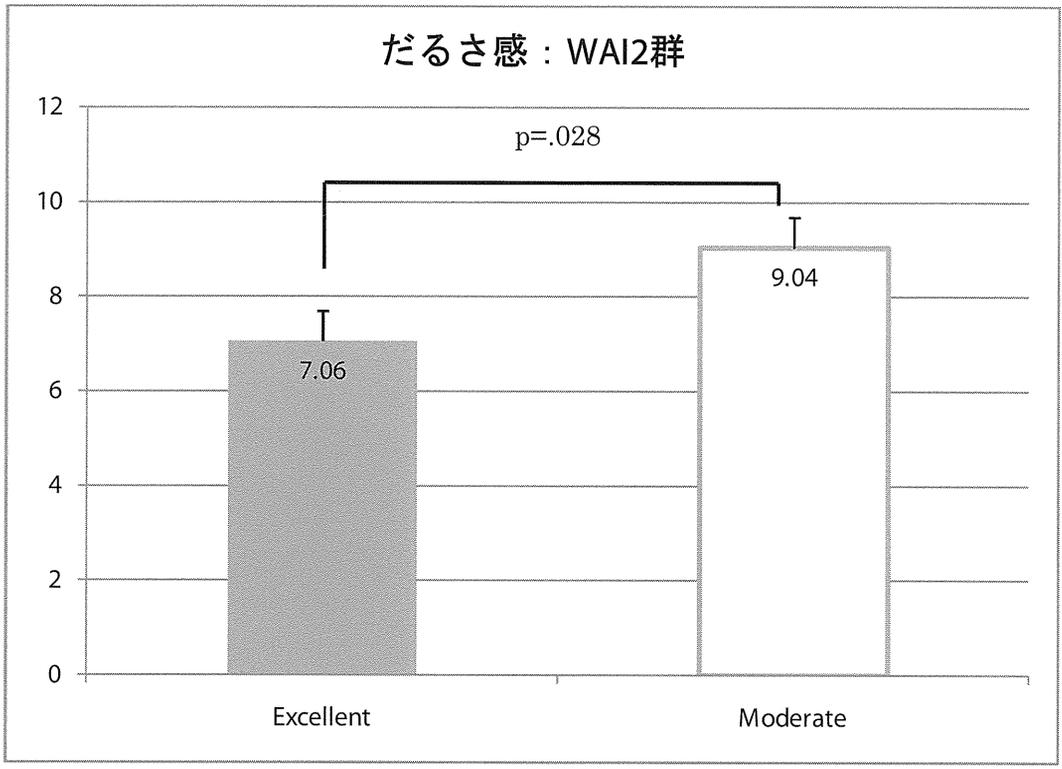


図5-184 だるさ感全体 (WAI2群)

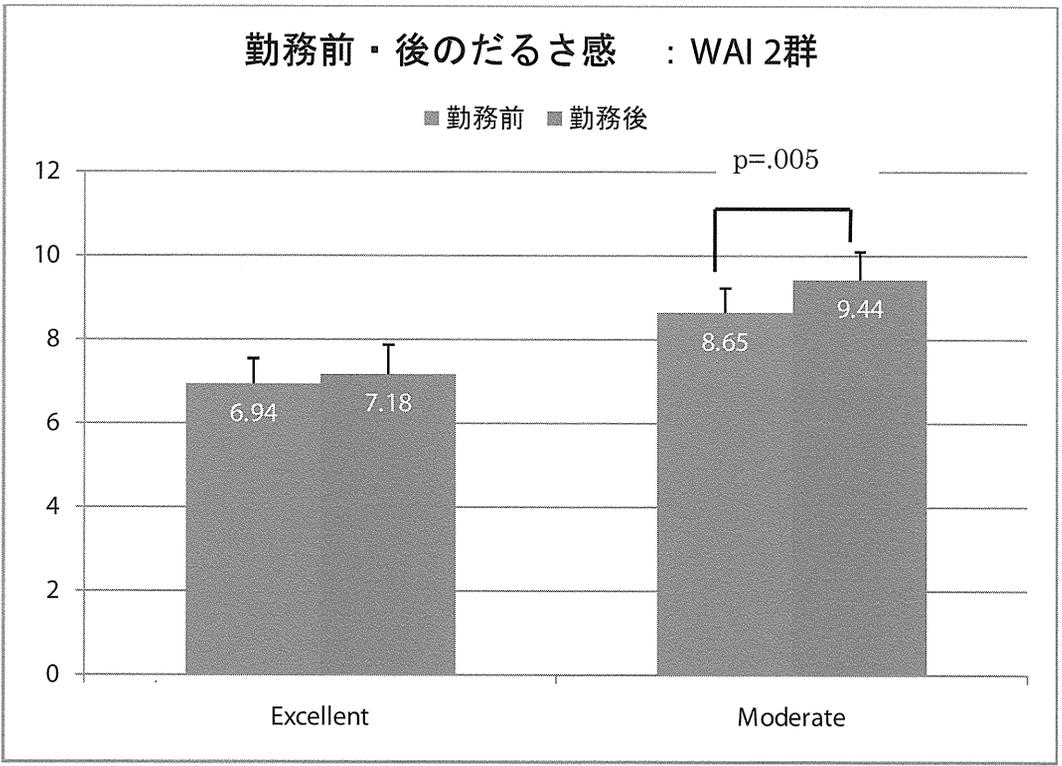


図5-185 勤務前・後のだるさ感 (WAI2群)

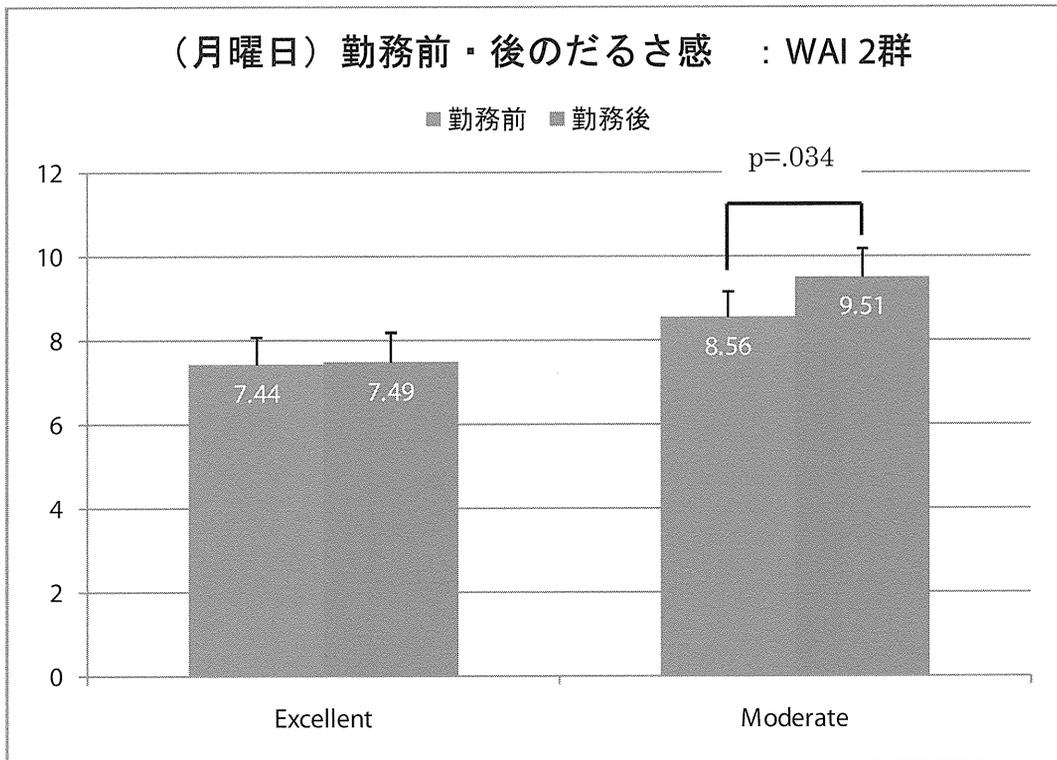


図5-186 月曜日の勤務前・後のだるさ感 (WAI2群)

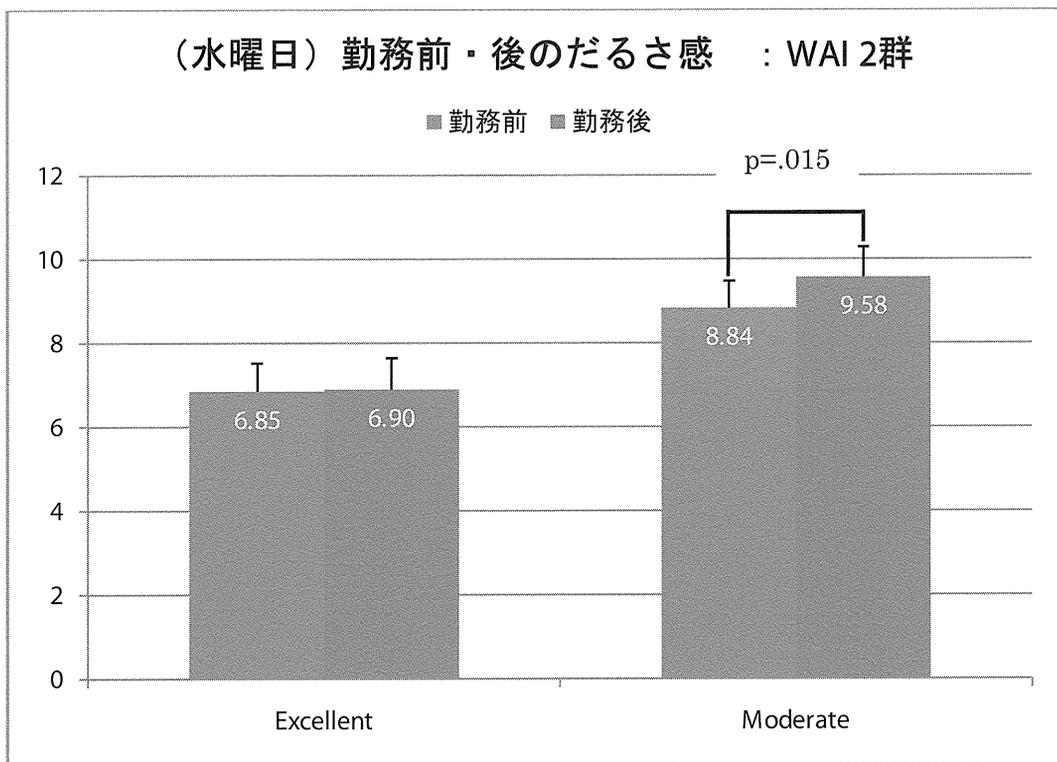


図5-187 水曜日の勤務前・後のだるさ感 (WAI2群)

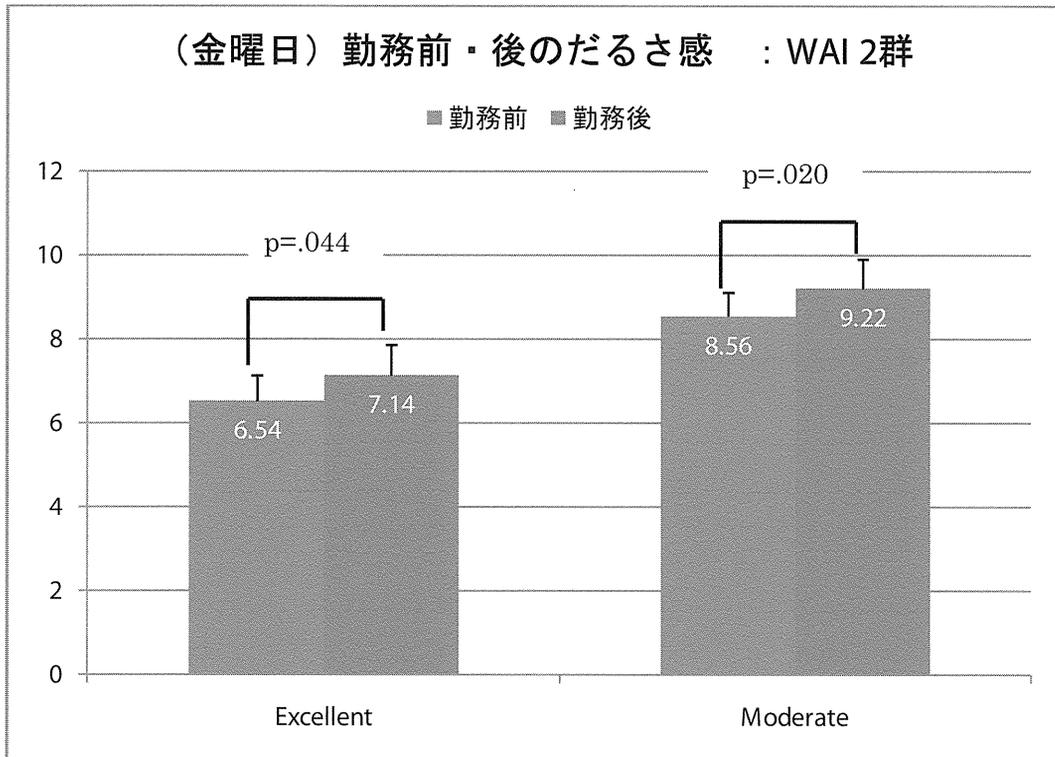


図5-188 金曜日の勤務前・後のだるさ感 (WAI2群)

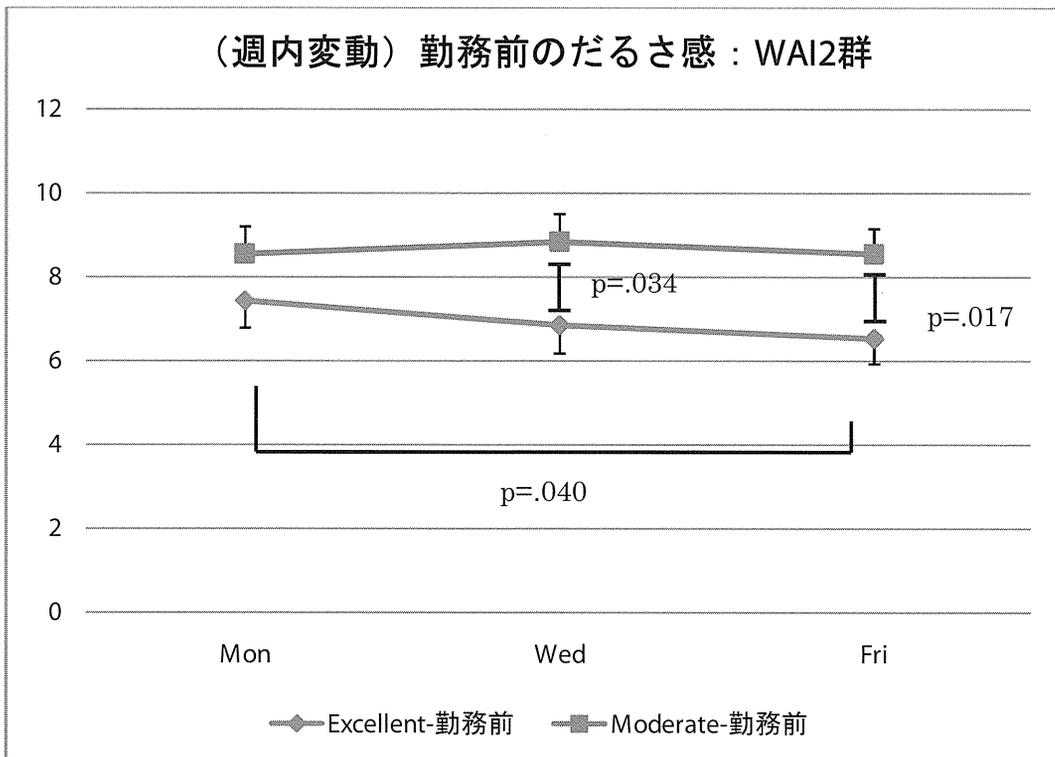


図5-189 勤務前のだるさ感の週内変動 (WAI2群)